

## 新年のご挨拶



諏訪区地域協議会  
会長 川上 久雄



あけましておめでとうございます。

令和4年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

昨年も新型コロナウイルスの感染拡大が治まらず、各団体の皆さんにおかれては、思い通りの活動が出来ずに大変ご苦勞されたことと存じます。

また、皆さんの活動を補助する地域活動支援事業につきましても、諏訪区への配分額に残額が生じたため事業提案の追加募集を行いました。約65万円の残額を残す結果となりました。

一日も早く、元気で明るい諏訪区を取り戻したいと願っております。

さて、諏訪区地域協議会では、自分たちでテーマを定めて議論する「自主的審議事項」として、豊かな自然が残された「二貫寺の森の活用」について話し合っております。

二貫寺の森は、市の「自然環境保全地域」に指定されており、動植物の捕獲・採取が制限されるなどの制約があります。また、「市民の森」として、自然環境意識を高めるための活動も実施されており、植生に配慮しながらどのように遊歩道を確保するかといった課題もあります。

今後は、諏訪の里づくり協議会をはじめとした関係団体と意見交換を行い、さらに有効に活用するためどのようなことができるのか、協議してまいりたいと考えています。

今年度は地域協議会の在り方も大きく変わる年になりそうです。今後一層、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。



## ■ 地域協議会の開催状況について

今年度の会議（地域活動支援事業の審査後）の状況は次のとおりです。

### 第5回会議（9/14）

（報告）

- ・前期委員を対象とした意向調査の結果への対応について、説明を受けました。

（協議）

- ・今年度の「地域活動支援事業」の審査を振り返りました。

（自主的審議）

- ・二貫寺の森の「活用促進」「イベント開催」の二つのグループに分かれ、議論を進めました。

### 第6回会議（11/10）

（自主的審議）

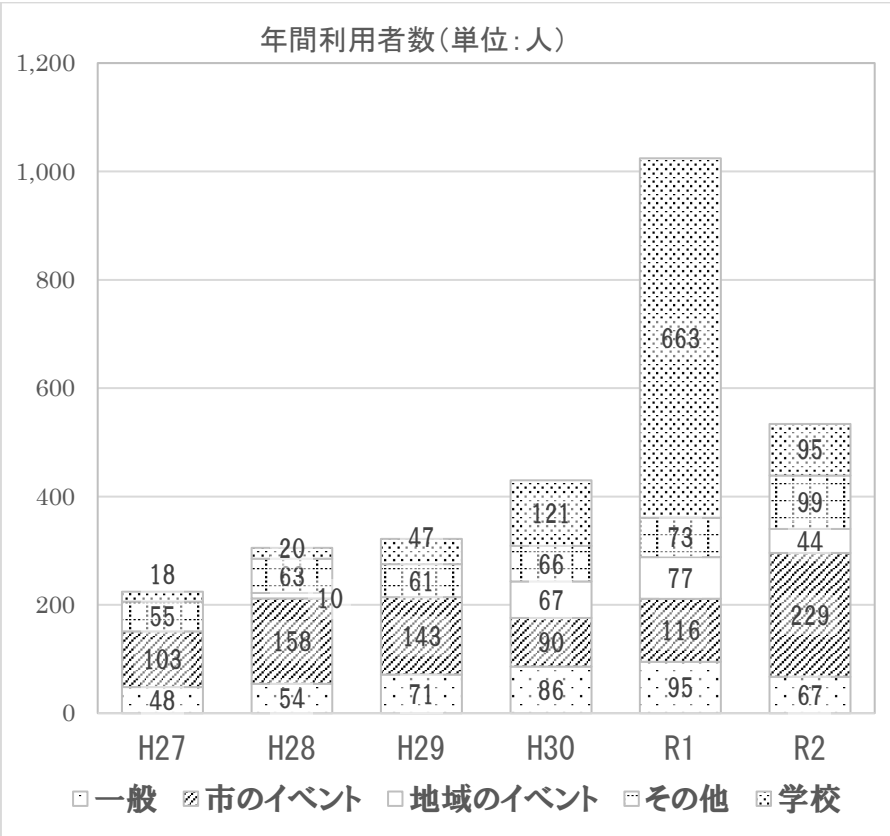
- ・各種活動で二貫寺の森を訪れた委員から、森の現況等の感想を聞き、情報共有しました。
- ・二つのグループに分かれて議論を進めました。
- ・実情を踏まえた具体的な議論を行うため、「二貫寺の森の関係団体との意見交換会」の開催に向けて取り組むこととしました。

# 地域課題について議論しています



## ■ 自主的審議テーマ「二貫寺の森の活用について」

### ★ 二貫寺の森の利用者数の推移



二貫寺の森の利用者数は、やや増加の傾向にあります。

主な利用の内訳は、市が毎年開催する「自然観察会」のほか、諏訪地区公民館の事業などで利用されています。

また、令和元年度は、市内の小学校が年間を通じた課外学習を行ったため、利用者数が大幅に増加しました。

なお、一般の利用者数は日曜日のみの実績ですが、こちらも若干増加しています。

### ★ 二貫寺の森における活動 ～ 令和2年度の地域のイベントから ～

#### 〈二貫寺の森わくわくウォッチング〉

すわっ子クラブ



野鳥観察会や学習会、森の散策、巣箱の設置等を通じて、二貫寺の森の役割を知り、地域の

自然に興味を持ち、自然を大切にしようという気持ちが高まりました。

#### 〈炭焼き体験〉

諏訪の里づくり協議会



小学生と保護者、地域の人と一緒に、二貫寺の森にある炭焼き窯で炭焼き体験を行いました。

炭焼き窯を知ってもらうため、大人を対象とした炭焼き体験も行いました。

### ★ 二貫寺の森の活用について、ご意見をお寄せください★

#### お問い合わせ先

中部まちづくりセンター（上越市木田 1-1-3 木田第二庁舎 3階）

TEL：526-1690 / FAX：520-5853 / E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp